

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 5 年 11 月 30 日(2023.11.30)

【公開番号】特開 2021-138916(P2021-138916A)

【公開日】令和 3 年 9 月 16 日(2021.9.16)

【年通号数】公開・登録公報 2021-044

【出願番号】特願 2020-213860(P2020-213860)

【国際特許分類】

C 0 8 L 1 0 1 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

10

C 0 8 K 5 / 1 3 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 K 5 / 3 4 7 7 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 L 1 0 1 / 0 8 (2 0 0 6 . 0 1)

G 0 3 F 7 / 0 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)

G 0 3 F 7 / 0 3 2 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 G 5 9 / 2 6 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

C 0 8 L 1 0 1 / 0 0

C 0 8 K 5 / 1 3

C 0 8 K 5 / 3 4 7 7

20

C 0 8 L 1 0 1 / 0 8

G 0 3 F 7 / 0 0 4 5 0 2

G 0 3 F 7 / 0 3 2

G 0 3 F 7 / 0 0 4 5 1 2

C 0 8 G 5 9 / 2 6

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 11 月 21 日(2023.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

30

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) ヒンダードフェノール系酸化防止剤と、(B) 熱硬化性成分とを含有する硬化性樹脂組成物であって、

(A) ヒンダードフェノール系酸化防止剤が、

(A 1) 2 0 の蒸気圧が 1.0×10^{-7} Pa 以下であり、エステル骨格を有するヒンダードフェノール系酸化防止剤と、

40

(A 2) イソシアヌレート構造を有するヒンダードフェノール系酸化防止剤と、を少なくとも含むことを特徴とする硬化性樹脂組成物。

【請求項 2】

さらに、

(C) アルカリ可溶性樹脂と、

(D) 光重合開始剤と

を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の硬化性樹脂組成物。

【請求項 3】

(A 1) 2 0 の蒸気圧が 1.0×10^{-7} Pa 以下であり、エステル骨格を有するヒンダードフェノール系酸化防止剤および (A 2) イソシアヌレート構造を有するヒンダード

50

フェノール系酸化防止剤の配合量が、固形分換算で、（Ｂ）熱硬化性成分および（Ｃ）アルカリ可溶性樹脂の合計１００質量部に対してそれぞれ０．１質量部以上５．０質量部以下であることを特徴とする請求項２の記載の硬化性樹脂組成物。

【請求項４】

請求項１～３の何れか一項に記載の硬化性樹脂組成物を樹脂層として有することを特徴とするドライフィルム。

【請求項５】

請求項１～３の何れか一項に記載の硬化性樹脂組成物、又は請求項４に記載のドライフィルムの樹脂層を硬化したことを特徴とする硬化物。

【請求項６】

請求項５に記載の硬化物を有することを特徴とする電子部品。

10

20

30

40

50